平成 24 年９月８日

各　　位

会 社 名　株 式 会 社 マ ル マ エ
代表者名　代表取締役社長　前田　俊一
（ コード番号：6264　東証マザーズ ）
問合せ先　取締役管理部長　藤山　敏久
（ TEL. 0996-64-2900 ）

平成 24 年８月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 24 年８月度月次受注残高情報を開示いたします。

記

１．月次受注残高　　（百万円未満切捨て）

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
ＦＰＤ分野	87	69.0%	95.4%	△45.2%
半導体分野	25	19.9%	△30.7%	△27.3%
太陽電池分野	0	0.2%	△38.0%	29.1%
その他	13	10.9%	△44.7%	373.2%
合計	126	100.0%	19.0%	△35.8%

２．月次受注残高の推移　　（百万円未満切捨て）

区分	H23.9 月	10 月	11 月	12 月	H24.1 月	2 月
ＦＰＤ分野	168	113	71	51	44	16
半導体分野	21	46	35	35	31	39
太陽電池分野	0	1	0	0	0	0
その他	0	1	1	5	48	51
合計	191	162	109	92	123	107

区分	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
ＦＰＤ分野	26	41	53	41	44	87
半導体分野	34	26	31	26	36	25
太陽電池分野	0	0	0	0	0	0
その他	48	48	34	35	24	13
合計	109	116	119	103	106	126

３．月次受注残高の概況

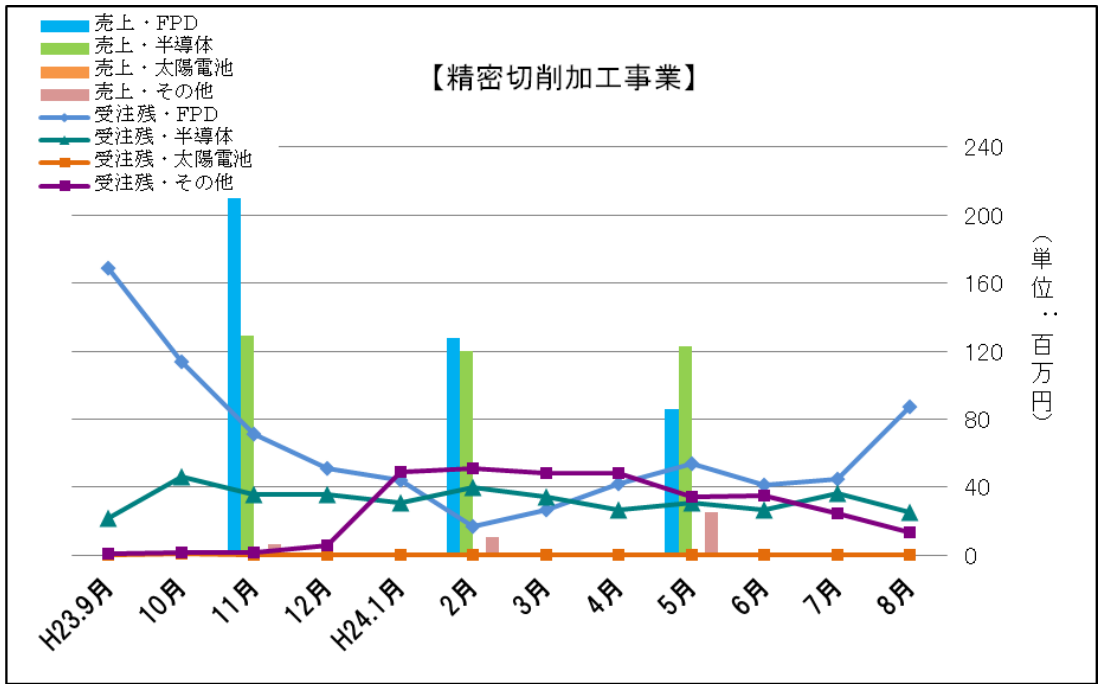
平成 24 年８月末の受注残高は、ＦＰＤ分野において受注が回復し始めたことから、対前月増減率で 95.4%増、対前年同月増減率では 45.2%減の 87 百万円となりました。半導体分野においては、受注は比較的安定しながらも、出荷検収が順調に進んだため、対前月増減率 30.7%減、対前年同月増減率 27.3%減の 25 百万円となりました。一方、その他分野においては原子力に関連する案件の出荷検収が進んだことから、対前月増減率 44.7%減の 13 百万円となりました。なお、太陽電池分野の受注においては、大きな動きはありませんでした。これらの結果、平成 24 年８月末の受注残高は、対前月増減率 19.0%増、対前年同月増減率 35.8%減の 126 百万円となりました。

今後の受注見通しといたしまして、ＦＰＤ分野においては、スマートフォン向けの中小型設備投資に関連した受注が継続する見通しを持っております。半導体分野においては、露光・レジスト処理工程顧客は低調ながらも比較的には安定していますが、エッチング工程の顧客の落ち込みが大きく、当社受注も同様の傾向です。ただし、当社においては新規受注品種の拡大もあり、増加傾向が続くと見込んでおります。太陽電池分野においては、大型案件は無く、試作程度の受注が続く見通しです。また、その他分野では、原子力関連の出荷検収が進んでいることと、ＦＰＤ分野の増加で社内生産力に余力が少ない事もあり、受注残は減少する見通しですが、新幹線や航空機など、長期的な見地での営業活動は継続しております。また、原子力関連の受注につきましても、時期は未定ながら継続する見通しであることなどから、断続的な受注状況になると想定しております。

全般的には、一部を除き厳しい市場環境が続いておりますが、当社では従来からの量産品につながる試作品や短納期品受注に加え、強みを活かした得意分野受注の増加を図っております。また、協力企業との取引拡大など、生産流動化で市場環境変動に影響されにくい構造改革に取り組んでおります。

以　　上

(参考：分野別　過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短いか当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。